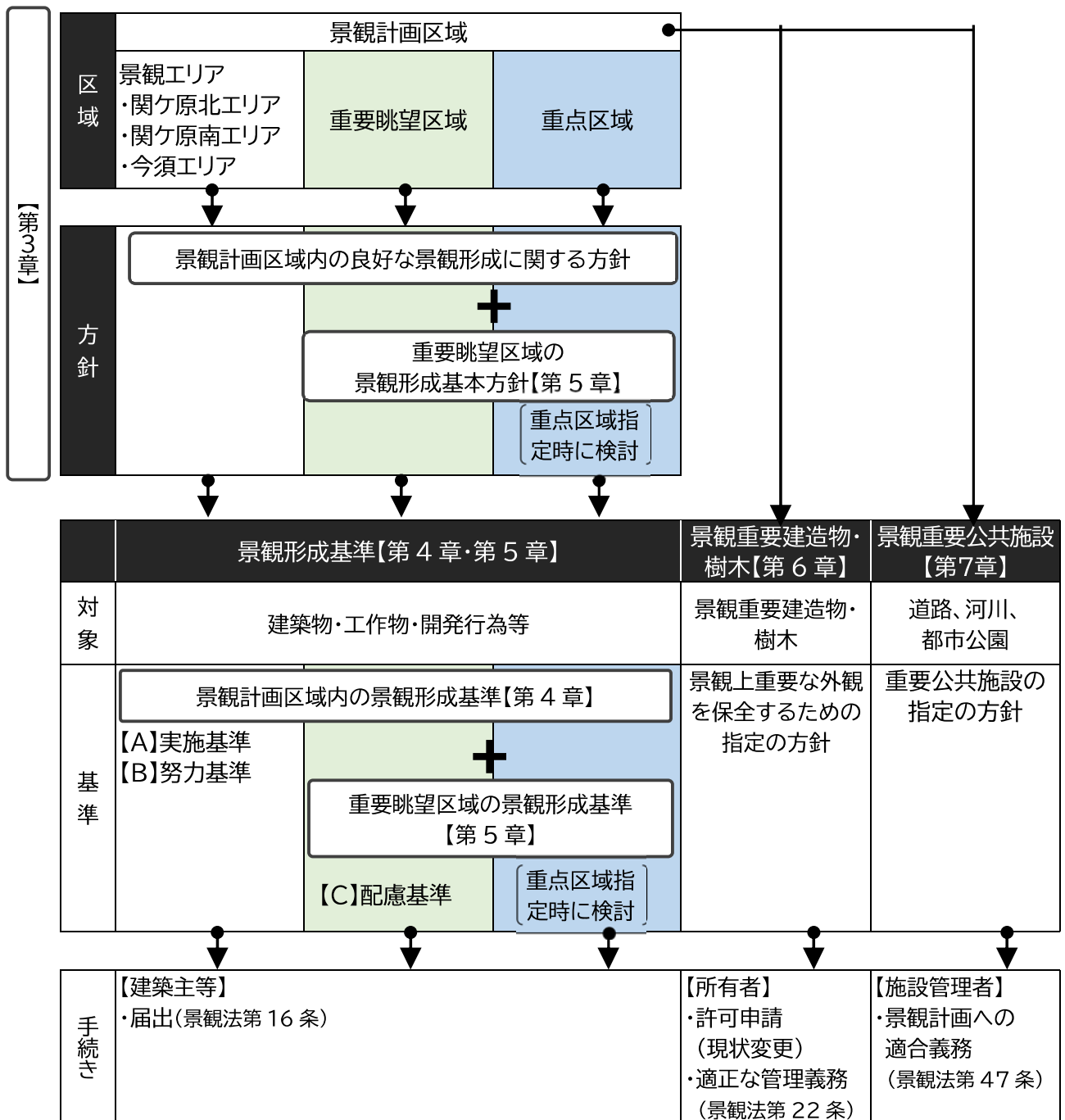


推進編

構想編に示した景観計画の基本理念、目標等を踏まえ、推進編では景観計画区域における方針【第3章】や景観形成基準【第4章】に加え、重点的に良好な景観の推進を図る重要眺望区域および重点区域について検討し、重要眺望区域では、方針や上乘せ基準【第5章】を設定します。

第6章では、景観重要建造物と景観重要樹木について、第7章では、景観重要公共施設について、それぞれ指定の方針を定めています。第8章では、住民・事業者・行政の役割を明確にするとともに、景観まちづくりの推進に向けた取組みの展開を示しています。

下図は、第3章から第7章までの構成と、法的な手続きの全体的な枠組みを示したものです。



第3章 | 景観計画区域

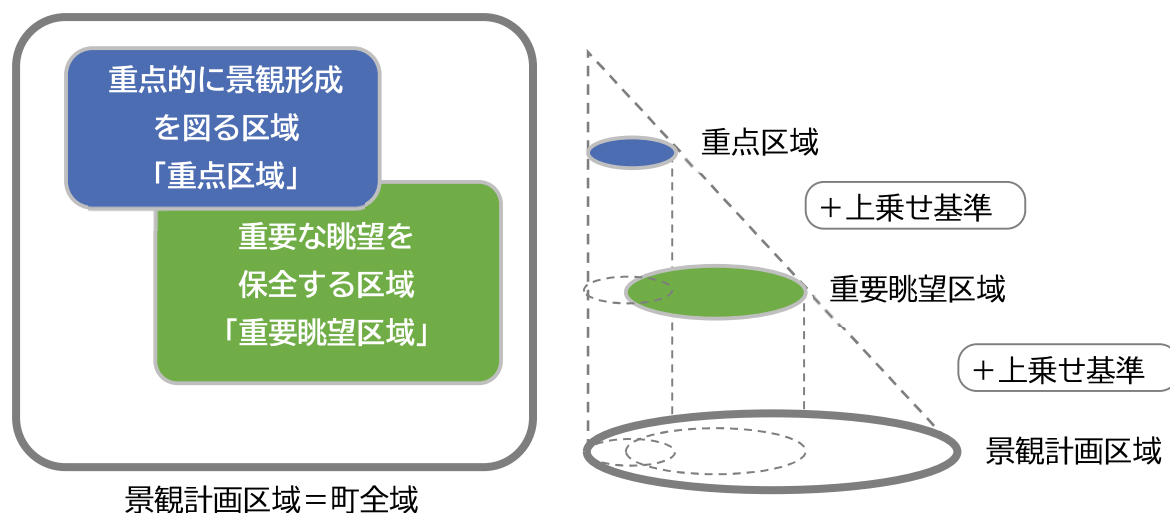
1 景観計画区域

(1) 景観計画区域の設定

関ヶ原町では、特徴ある景観が各地に存在していることから、それぞれの景観的価値の重要度を勘案した区域設定を行います。町全域の広域的な区域の基準に加え、特定の区域では上乘せ基準を定め、建築行為等の規制、誘導によって良好な景観形成を図ります。

町全域は景観法に基づく「景観計画区域」とします。特定の区域としては、重点的に眺望景観の保全・活用を図る区域を「重要眺望区域」、重点的に景観まちづくりを推進する区域を「重点区域」として設定し、上乘せ基準を定めます。

なお、本計画では重点区域の候補地を選定し、今後、重点区域への移行を推進することとします。



区域の設定と景観形成基準の考え方

(2) 良好な景観形成に関する方針

関ヶ原町の景観特性を踏まえ、景観をまもり、そだて、つくるための良好な景観形成に関する方針を定めます。

1 「古戦場のまち」としての景観の形成・保全

壬申の乱、関ヶ原の戦いなどに関する歴史的な遺構や史跡、地形から形成される景観など、「古戦場のまち」として関ヶ原町の顔となるべき景観について重点的な形成・保全に取り組みます。特に、関ヶ原の戦いにおいて、布陣するに至った地形や旧街道との関わりを尊重し、陣跡相互の眺望の形成・保全に取り組みます。

2 東西を結ぶ景観の形成・保全

旧中山道などをはじめ、古くから現代までの交通の要衝の地、東西文化を結ぶ地として、その景観的価値を再認識します。東西文化の違いを活かして、地域に根ざした長年の歴史や文化により醸し出される景観の形成・保全に取り組みます。

3 「自然・暮らし」の中から形成される文化的な景観の形成・保全

マンボ等をはじめ、人々の暮らしや自然の中ではぐくまれた関ヶ原町特有の田園景観や山林景観、自然景観を継承します。山々の豊かな自然の保全や農業、林業など人々の暮らしの場をまもることで、自然と人々の活動が織りなす潤いと安らぎのある美しい景観の形成・保全に取り組みます。

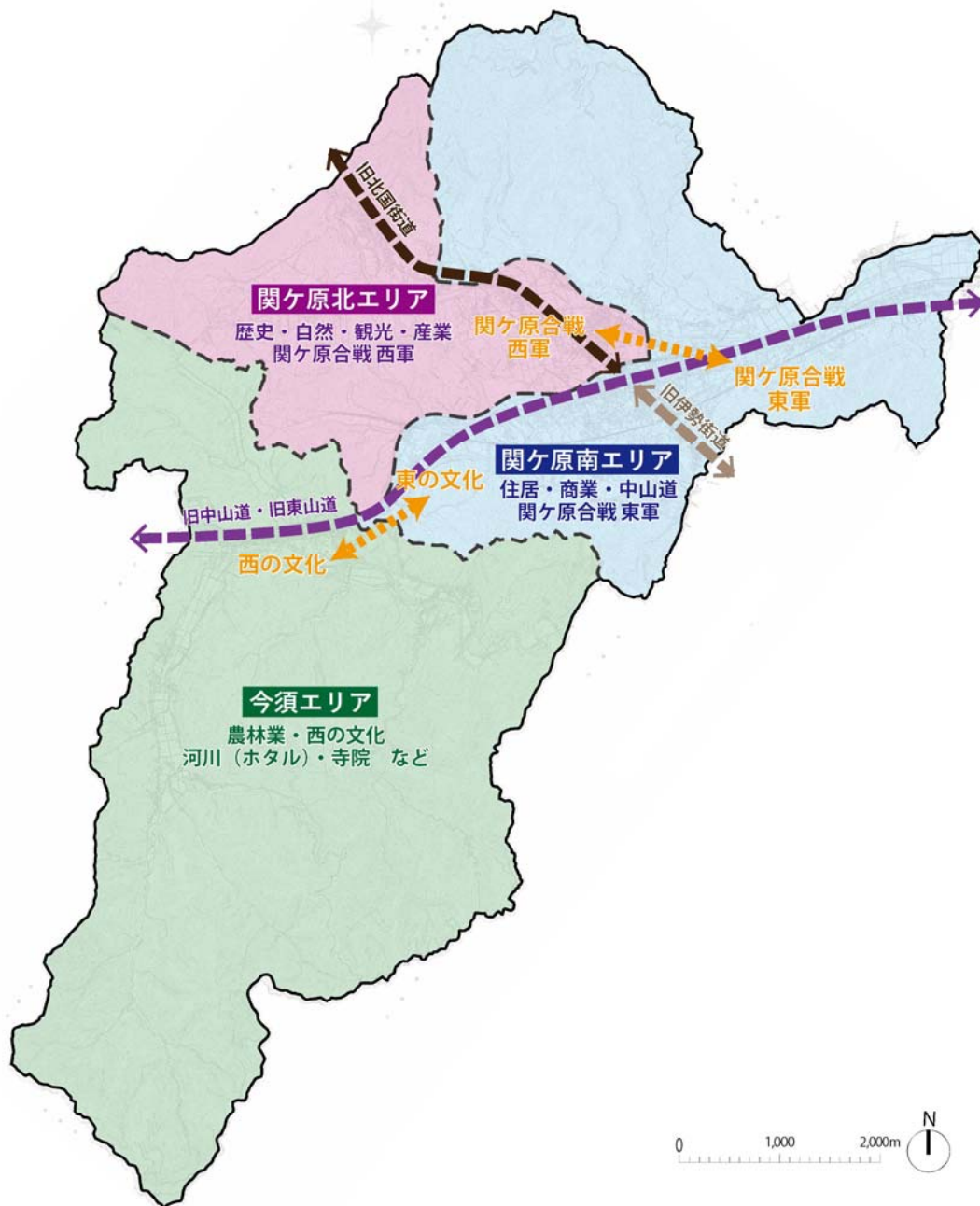
4 関ヶ原町を活かす眺望景観の保全

関ヶ原古戦場の眺望をはじめ、関ヶ原町の顔となる象徴的な眺望景観の形成・保全に取り組み、関ヶ原町の更なる魅力の向上を図ります。また、伝説地や、人々の心や言葉の中に残る眺めとして今日まで継承されてきた物語など目にみえない景観を含め、視点場と視対象を明確にし、住民にとって大切な眺望景観の形成・保全に取り組みます。

2 関ヶ原町の景観エリア

(1) 景観エリアの設定










関ヶ原町においては、自然や歴史、文化、産業等の景観特性および土地利用、地域コミュニティや暮らし等を踏まえ、関ヶ原南エリア、関ヶ原北エリア、今須エリアの3つのエリアに区分します。



景観エリアの区分

(2) 景観エリア別の特性と景観形成基本方針

景観エリア別の特性と景観形成基本方針は次のとおりです。

<p>関ヶ原南エリア</p>	<p>【景観特性】 旧関ヶ原宿の道幅や、旧街道らしい町並みが残っています。現代では、旧街道の役割は国道や鉄道等の交通に替わり、JR 関ヶ原駅を中心として市街地が広がっています。古代から現代まで、人々の暮らしや活動、交通の中心とした景観を形成しています。</p> <p>【景観形成基本方針】 旧中山道や宿場町を活かした町並みの保全・再生と、関ヶ原町の玄関口として風格のある景観の創出の両立を図ります。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 5px;"> 旧中山道関ヶ原宿 旧中山道松並木 関ヶ原 IC 前 </div>
<p>関ヶ原北エリア</p>	<p>【景観特性】 関ヶ原の戦いに関わる多くの史跡や遺構を有しており、東軍・西軍の陣跡からは地形や、それぞれの陣の配置、旧街道との関わり、関ヶ原古戦場全体を眺望できます。また、エリアの北部では藤古川や伊吹山等が形成する地形や自然が集落と調和する景観を形成しています。また、旧北国街道沿いには、旧街道らしい町並みや集落地が残っています。</p> <p>【景観形成基本方針】 関ヶ原古戦場からみえる眺望の保全や、関ヶ原町らしい地形、自然と調和する町並みの保全を図ります。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 5px;"> 石田三成陣跡(笹尾山) 陣場野(旧北国街道) 玉の集落 </div>
<p>今須エリア</p>	<p>【景観特性】 旧中山道今須宿にはベンガラ塗の建築物が点在しており、東西の文化を結ぶ景観が残っています。また、山間の水田と今須杉の美しい択伐林があり、農業と林業を生業として暮らす集落の景観を形成しています。</p> <p>【景観形成基本方針】 東西の文化の交わりが感じられる特有の町並みや、農業や林業が感じられる集落の町並みの保全を図ります。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 5px;"> 旧中山道今須宿 ベンガラ塗の建築物 今須の田園・山林・集落 </div>